



〔拡大版〕

過ぎゆく夏を満喫 —ひだかニッコリゆかたフェスタ—

8月22日(土)、中央公民館前の駐車場で、日高町商工会青年部(早稲田伊織部長)主催の「第10回ひだかニッコリゆかたフェスタ」が催され、浴衣や甚平姿の子どもたちで賑わいました。

会場の屋台では、焼きそばやフライドポテト、フルーツなどのほか、ジュースやかき氷など冷たい甘味も充実。多くの親子が買い求めていました。

また、ゲームコーナーではスーパーボールすくいや射的の屋台が出店。同青年部員手作りのストラックアウトコーナーでは、的を狙ってボールを投げ、当てた数を競いました。

催物では、恒例のゆかたコンテストが開催されたほか、ディジークラムによるダンスショーや、初企画のスイカ割りも実施され、会場は大いに盛り上がりました。

さらに、やぐらを囲んでの盆踊りでは「日高町ふるさと音頭」や「炭坑節」などの曲にあわせて踊り、夏を満喫していました。



日高VBCが近畿大会で奮闘！

—第39回近畿小学生バレーボール大会—

8月30日、大阪府堺市立大浜体育館で、第39回近畿小学生バレーボール大会が開催され、日高VBCの選手らが強豪を相手に活躍しました。

3チームで構成されるリーグ形式で戦った日高は、1試合目に日野(兵庫)、2試合目に瀬田(滋賀)と対戦。

身長167cmのエースを有する日野との対戦では、相手エースの強烈なスパイクに苦戦し、セットカウント0-2で破れました。

次の瀬田戦では、1セット目を21-19の接戦で先取。ところが2セット目に入ると、瀬田のサーブ、

アタックが好調で一方向的な展開に。8-21でこのセットを落とし、最終セットにもつれこみました。

気持ちを切り替えて臨んだ最終セットでも、序盤は直前の勢いそのまま瀬田にリードされる苦しい展開。しかし中盤以降に持ち直し、日高本来のサーブで責め、拾ってつなぐバレーで持ち味を発揮してデュースに持ち込みました。ここでもサーブで責めた日高は、最終セットを17-15でもぎ取り、セットカウント2-1で勝利しました。

強豪揃いの近畿大会で1勝を取めた日高。今後の活躍がますます楽しみです。



みんなでおこそう国体の火

—日高町採火炬火式—

8月22日(土)、中央公民館において、日高町採火炬火式が開催され、参加した家族・友達10組が火おこしに挑戦しました。

式では〇×クイズを楽しんだあと、それぞれのグループに分かれて火おこしに挑戦。おこした火は一度火炬トーチに移したあと、子どもらが一斉に炬火台へ点火し、大きな「日高町国体の火」が点きました。

この日点けた火は国体開会式において、集火ランナーの森蔭斗生さん(日高中)が、各市町村の代表ランナーと共に点火ボックスへ点火。集まった火は、3人の走者がリレーで運び、紀三井寺陸上競技場の炬火台に点火されます。